※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）地理演習 A	単位数	2 単位	年次	3 年次前期
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料コンプリート 2024（帝国書院） 2026 データブックオブザワールド（二宮書店） 新地理の研究（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な資料や統計を読み解き、その地域の特質を理解し空間軸と時間軸の両面から当該地域の特色をよく理解してほしい。グローバル化に伴う環境変化を感じ取り、国際社会に貢献できる人間になってほしい。

2　学習の到達目標

（１）いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。
（２）現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。
（３）現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地誌総合演習	東アジア 東南アジア 南アジア 西・中央アジア アフリカ	a: 左記の内容に関する地理の用語を理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の内容に関する地理的事象を、資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 左記の内容に関してノートやプリントの作成などに主体的に取り組み、地域間における特色や問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出プリント 確認テスト 振り返りシート
	地誌総合演習	ヨーロッパ ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア	a: 左記の内容に関する地理の用語を理解し、その知識を身につけている。 b: 左記の内容に関する地理的事象を、資料に基づき多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 左記の内容に関してノートやプリントの作成などに主体的に取り組み、地域間における特色や問いを表現し、追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出プリント 確認テスト 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度